

現在の景気：県内景気は、緩やかな持ち直し傾向が続いているが、このところ足踏みがみられる。非製造業では、観光や飲食などの対面型サービス業の回復が続いているが、節約志向の影響などもみられる。製造業では、生産活動が横ばい圏内で推移している。この間、建設需要は、交通インフラ整備などの公共工事請負額の増加を背景に総じて底堅く推移しているが、住宅をはじめとする民間部門では建設コスト上昇や人手不足の影響がみられている。

3 か月程度の見通し：非製造業は、物価高や人手不足の影響を受けつつも対面型サービス業を中心に持ち直しの動きが続くほか、製造業は、横ばい圏内の推移が続くとみられる。ただし、米トランプ関税の影響など先行きの不確実性が高い状態が続いている。

個人消費：①底堅さを維持しているものの、節約志向もみられる。②6月の県内百貨店（存続店ベース）の売上は、前年同月比4.9%減と7か月連続で前年を下回った。化粧品や高額品などで底堅い動きが続いたほか、気温が上昇した中旬以降は日傘などの夏物雑貨が動き出したが、食料品や衣料品などで物価高の影響がみられた。7月入り後は、猛暑が続き、盛夏商材の動きが活発化する一方、高齢者顧客の外出控えもみられた模様。6月の自動車登録台数は、前年同月比4.9%減と2か月連続で前年を下回った。軽乗用車（同1.2%増）は増加したものの、一般乗用車（同7.4%減）が減少した。

住宅建築：①弱含み。②6月の新設住宅着工戸数（後方3か月移動平均）は前年同月比28.7%減少し、3か月連続で前年を下回った。分譲（同22.5%減）、持家（同4.3%減）、貸家・給与住宅（同1.9%減）いずれも減少した。

設備投資：①振れがあるものの、高水準とみられる。②国土交通省の「建設着工統計」（非居住用）によると、6月の工事床面積（年度累計）は、前年同期比49.7%減、工事費予定額は同38.8%減となった。ひまわりベンチャー育成基金（調査研究部門：千葉経済センター）によるアンケート調査*では、25年度の期初計画は、24年度比51.8%減となっている。企業の投資マインドを示す増減企業割合は、3年連続で「増加」と回答する先が多くを占めた後、25年度は「横ばい」との回答が5割強となった。

公共工事：①増加。②6月の県内公共工事請負額（年度累計）は、前年同月比52.0%増加した。独立行政法人等（前年同月比88.2%増）、市町村（同79.4%増）、国（同10.3%増）、県（同0.5%増）いずれも増加した。

輸出：①増加。②6月の成田、千葉、木更津3港合計通関輸出額は、前年同月比7.9%増と20か月連続で前年を上回った。成田空港は、科学光学機器（同14.0%増）、医薬品（同26.1%増）などが増加し、同10.1%増と19か月連続で前年を上回った。一方、千葉港は、石油製品（同25.9%減）、鉄鋼（同23.0%減）を中心に同13.0%減と5か月連続で前年を下回った。木更津港も、鉄鋼（同31.4%減）などが減少し、同16.7%減と3か月連続で下回った。

生産活動：①横ばい圏内。②5月の県鉱工業生産指数（季調値、2020年＝100.0）は、96.4（前月比0.7%低下）と2か月ぶりに低下した。石油・石炭製品工業（同4.7%上昇）などが上昇したが、化学工業（同1.3%低下）、食料品工業（同1.3%低下）などが低下した。

観光：①底堅い。②県内の観光・宿泊施設では、好調な入込が続いている。県内では、九十九里町の片貝、不動堂海水浴場を皮切りに（7月1日～）、17市町村54か所で海水浴場が開設される。主要観光施設では、鴨川シーワールドの「シャチのサマースプラッシュ」（7月1日～8月31日）や東京ディズニーリゾートの「サマークールオフ」（7月2日～9月15日）などの盛夏イベントを実施している。

雇用情勢：①人手不足感が強い状態が続いている。②6月の有効求人倍率（季調値）は、前月比0.02ポイント低下の0.98倍となった。有効求職者数が増加する一方（前月比0.8%増）、有効求人数が減少した（前月比1.0%減）。ひまわりベンチャー育成基金のアンケート調査*における雇用実績BSIは、大幅な「不足」超が続いている。

【トピックス】

- 不動産大手のヒューリックとプロバスケットボールチーム「アルティエリ」が、千葉市に対し、新アリーナを建設する申し入れを行った（1日）。県立幕張海浜公園内に約2万人を収容するアリーナを2030年に開業する。「アルティエリ千葉」のホームアリーナとなるほか、ライブやイベントなどにも対応する。
- 大相撲名古屋場所において、柏市出身の東前頭15枚目の琴勝峰が初優勝を果たした（27日）。
- コンサルティング大手のデロイトトーマツが、かずさアカデミアパークに研修施設「デロイト・ユニバーシティ」を建設することを公表した（30日）。リーダーシップなどを学ぶ研修会などにより、国際人材を育成する。建物の延床面積は3,000～4,000㎡で、27年に着工し、29年の開校を予定している。

* 調査実施時期：25年6月～7月。有効回答数167社。